

交流事業実行委員会主催 / 少年の翼 / 沖縄交流事業

感じる 沖縄の風土を

絶やせない絆が紡ぐ
兄弟都市・中城村との交流

福智町と兄弟都市協定を結ぶ中城村との交流開始は旧方城町時代の平成7年。これまで、児童の相互交流に始まり、文化やスポーツなど多方面でその関係を深めてきました。しかし開始から一度も絶えず続いてきたこの事業も、コロナ禍により2年間中止を余儀なくされました。今年度は実施に向けて両町村が密に連絡を取り、感染対策を徹底。厳しい感染状況の中、受入家庭と行政の協力を得て、実施へと結びつきました。

沖縄文化に触れる3日間
一期一会の出会いと体験

参加児童は4度の事前研修を経て沖縄県を訪問。沖縄独自の名所や平和史跡をめぐり、夜はホームステイで親交を深めるなど、異文化に触れる濃密な3日間を過ごしました。交流事業実行委員会の永末委員長は「大切なのは見て、聴いて、肌で感じることです。このつながりは福智町にとってかけがえない財産。必ず次世代につないでいきます」と事業の継続に力を込めました。来年一月には中城村が福智町を訪問予定。参加児童は福智町代表の自覚を胸に、再会の日を心待ちにしています。

日程 7/30 [土] ~ 8/1 [月]
2泊3日

参加者 小学校・義務教育学校5~6年生

場所

沖縄県 中城村
(研修は沖縄県全域)



福智町から南西90km、沖縄県・中城村。20年以上の歴史を重ね、強い絆で結ばれた両町村の交流もついに再開の時を迎えました。

スケジュール -Schedule

- 訪問**
- 6月29日(水) 結団式
 - 7月6日(水) 事前研修①
 - 7月13日(水) 事前研修②
 - 7月20日(水) 事前研修③
 - 7月27日(水) 事前研修④
 - 7月30日(土) ~ 8月1日(月) 沖縄訪問
- 受入**
- 12月14日(水) 事前研修⑤
 - (R5年)
 - 1月13日(金) ~ 15日(日) 福智町受入
 - 1月18日(水) 解団式

5年生の時に沖縄交流に参加!

これまで何度も町の事業に参加して、多くのことを学びました。次は私がこの経験を今の子どもたちに伝えていきたいと思い実行委員をしています。今後は福智町と関わる仕事に就いて、恩返しします。



交流事業実行委員(大学生)
浦田 芽依さん



福智町沖縄交流事業団長
加来 寧々さん

沖縄県は、食事や話し方も風景も初めて出会うことばかりで、空港を出た瞬間から文化の違いを感じることができました。ホームステイ先も温かく迎えてくれて、すぐに仲良くなれました。1月にまた友達と会えるのが楽しみです。



平和学習

事前に研修したことを現地で視察学習。自分の目で見て、現地の声を聴くことで、命の大切さや今ある平和のありがたさを身をもって感じる事ができました。



ホームステイ(児童交流)

はじめは緊張していたホームステイでしたが、各家庭で温かいもてなしを受け打ち解けた児童たち。3日目のお別れの際には「また会おう」と再会を誓いました。



エメラルドビーチ

一番人気だった海水浴に、両町村の児童全員が大はしゃぎ。直前まで降っていた雨も止むなど天気も味方し、沖縄特有の透明度の高い美しい海を満喫しました。



中城城跡

村が誇る世界遺産・中城城跡を見学。観光ガイド「グスクの会」による解説とともに約1時間城内をめぐり、村の歴史と密接に関わる貴重な史跡について学びました。



中城村護佐丸歴史資料図書館

村の英雄・護佐丸から名づけられた図書館を訪問。中城城の石垣を模したパズルなど見て触れる資料展示もあり、楽しみながら村の文化や歴史について学習しました。



事前研修(全4回)

学校の枠を越えて集まった14人が、4回にわたり沖縄・福智町・平和・集団行動を学習し、千羽鶴2束も制作。町の代表として自覚を高め訪問の準備を進めました。